



高岡巧美会

TAKUMIKAI

TAKAOKA
TRADITIONAL
CRAFT EXPERTS



高岡市伝統工芸産業技術保持者の指定を受けた技術者が、会員相互の技術交流を図り、伝統工芸産業技術の保存・伝承に努めるとともに、広く伝統工芸産業の発展に寄与することを目的に、昭和46年に設立した。

高岡市伝統工芸産業技術保持者 高岡市は、伝統工芸産業である高岡銅器・高岡漆器の優れた技や知識を有する技術者を高岡市伝統工芸産業技術保持者として、昭和42年より指定している。令和3年1月1日時点で、124名が指定を受けている。(銅器83名、漆器41名)

巧美会のマークは、頭文字「タ」と技術の「技」を組み合わせたデザイン。技術を中心に広く伝統工芸産業の発展に寄与することを表している。

歴代会長



初代会長
昭和46年～51年
内免 勝二



二代目会長
昭和51年～58年
矢木 富次郎



三代目会長
昭和58年～60年
内島 修蔵



四代会長
昭和60年～平成元年
串田 信一



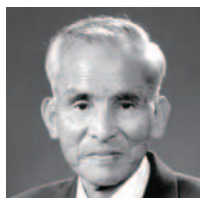
五代目会長
平成元年～4年
武蔵川 建三



六代会長
平成4年～9年
立川 善太郎



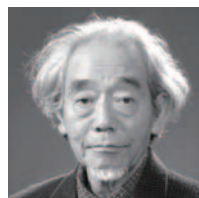
七代会長
平成9年～11年
桶川 儀太郎



八代会長
平成11年～13年
般若 茂雄



九代会長
平成13年～17年
田中 勇雄



十代会長
平成17年～19年
高瀬 竜一



十一代会長
平成19年～25年
鳥田 稔弘



十二代会長
平成25年～27年
今井 孝雄



十三代会長
平成27年～29年
佐野 宏行



十四代会長
平成29年～令和元年
中村 喜久雄



十五代会長
令和元年～
武蔵川 義則

🔍 ウェブページのご案内

展示会の開催情報や
会員のプロフィール、代表作品を見る



高岡巧美会ウェブサイト
<https://suncenter.co.jp/takaoka/takumikai/>

過去の会員含む 120名を超える
銅器・漆器の技術者データを検索する



高岡市伝統工芸産業技術保持者データベース
<https://suncenter.co.jp/takaoka/database/>

事業紹介

1 展示会の開催

高岡伝統の技と美を、より多くの方に紹介し理解を深めていただくため、会員の制作した作品を展示・発表している。

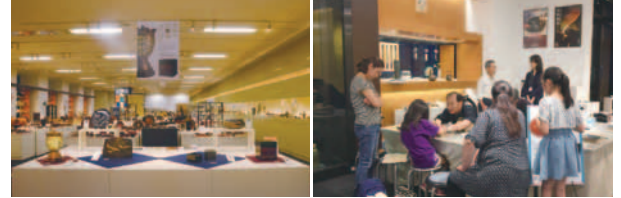
高岡巧美会展

高岡巧美会展は、昭和49年に第1回目を高岡商工ビルで開催。その後、高岡地域地場産業センター、大和高岡店、高岡市役所など会場にも配慮を重ね、現在は高岡市美術館ギャラリーで開催している。平成21年には、高岡開町400年・高岡巧美会設立40周年記念展を高岡市民体育館で開催した。



高岡の伝統工芸品展（東京展）

高岡の伝統工芸品展は、平成23年から巧美会が主催となり開催している東京での展示会である。平成23年から25年まではいきいき富山館（有楽町）、平成26年からは伝統工芸青山スクエア（赤坂）を会場に開催している。作品展示とともに工芸体験実習を実施しており、世代を問わず多くの来場者が訪れている。



2 技体験・匠工房見学の実施

技術者の技を直接見て体験することで、伝統産業への理解を深め、高岡の魅力を再発見していただくために開催している。

技体験

会員の指導のもと、金工は彫金・鍛金・鋳造、漆工は螺鈿などの、本格的な技体験を半日かけて開催。



匠工房見学

技体験の後には、金工と漆工それぞれの会員の工房を見学。匠の技を間近で見ることができ、好評を得ている。



3 高岡市への作品寄贈

伝統工芸技術の保存・伝承のため、会員制作の作品を市に寄贈している。（これまで67点）



4 その他

図録の発刊や作品の展示協力、工芸産地の視察研修会などの普及・啓蒙活動を実施している。

図録「美と技の系譜」

設立30周年、40周年のそれぞれの機会に、記念誌として発行した。高岡市伝統工芸産業技術保持者に指定された全員のプロフィールと代表作品を、100ページを超えるフルカラーの誌面で紹介している。



「まちなかギャラリー」作品展示

高岡の中心商店街では、銅器・漆器などの工芸品を年間を通して展示している。巧美会は、高岡市生涯学習センター（ウイング・ウイング高岡）入口のショーウィンドーに出品協力を行っている。



沿革

昭和46年

設立

昭和49年

高岡商工ビル「高岡巧美会展」(第1回)開催

平成9年

北日本新聞地域社会賞受賞

北日本新聞地域社会賞は、地域の発展・向上に貢献し、その功労が特に著しい団体に贈られる賞である。高岡巧美会では設立以来、銅器・漆器の技法の伝承・啓蒙に努めてきたこと、また毎年高岡巧美会展の開催を通じて熟練した技を披露するなど、高岡の伝統産業を長年にわたり支えてきた功績が評価されての受賞となった。



平成12年

設立30周年

設立30周年を迎えた平成12年には、さまざまな記念事業を行った。高岡地域地場産業センターにおいて記念式典および祝賀会を開催したほか、3月1日から5日まで、同センターで設立30周年記念「高岡巧美会展」を開催。見応えのある展示と金工・漆工の実演は、多くの来場者に好評をいただいた。また、技術保持者90名のプロフィールと代表作品を紹介した記念誌「美と技の系譜」を発行した。



平成20年

タカオカミラノ・フォーラムディスカッション参加

平成20年3月、高岡の匠の技とイタリア・ミラノのデザインの連携を模索するフォーラムディスカッションに参加。ミラノ在住のデザイナー3氏などが、巧美会会員の工房を視察。また、デザイナーと会員、高岡市長などにより、具体的な可能性を探る交換セッションを行った。



平成21年

いきいき富山館「高岡開町400年展～御車山と現代の匠の技～」作品展示

平成21年1月、富山県アンテナショップ「いきいき富山館」(有楽町)で開催された高岡開町400年展において、会員の作品を展示。前年の4月には工芸体験も行った。

平成21年

「ゆきみらい2009 in 高岡」出品・実演

平成21年2月、雪に関する全国イベントが高岡市で開催され、全国から来場者が訪れた。会場には高岡の伝統工芸を紹介するコーナーが設置され、会員の作品展示と実演を行った。

平成22年

設立40周年

設立40周年と時を同じくして、平成21年に高岡は開町400年を迎えた。開町400年記念事業の一つとして、平成21年10月2日から4日まで、設立40周年記念「高岡巧美会展」を高岡市民体育館で開催。また、ホテルニューオータニ高岡において記念祝賀会を開催し、技術保持者114名のプロフィールと代表作品を紹介した記念誌「美と技の系譜」を発行した。



平成23年

いきいき富山館「高岡の伝統工芸品展」開催(平成25年まで)

高岡の優れた工芸品をより多くの方に伝えることを目的として、技術保持者や伝統工芸士の作品展を平成13年度から東京において開催してきた。平成23年からは巧美会が主催となり、毎年開催している。

平成26年

伝統工芸青山スクエア「高岡の伝統工芸品展」開催(以降毎年)

高岡巧美会事務局 | 高岡市デザイン・工芸センター内

〒939-1119 富山県高岡市オフィスパーク5番

TEL 0766-62-0520 FAX 0766-62-0521 メール tdcc@suncenter.co.jp

休館日 月曜、祝日、年末年始